

第670回建設技術講習会における 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和 2年11月27日
(一社) 全日本建設技術協会

本会では、令和2年度建設技術講習会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月の開催分まで中止にしてきましたが、このたびの第670回建設技術講習会は、募集人数を減らし、新型コロナウイルス感染症における必要な対策を講じた上で実施することといたしました。

なお、今後の社会情勢等により、実施方法の変更や中止となる場合があります。
その場合には、本会ホームページにて発表するとともに各地方協会等へメールにてお知らせいたします。

第670回建設技術講習会に参加される方は、新型コロナウイルス感染予防にご協力下さい。

【募集人数について】

1. 「文化ホール」は会場収容人数494名のところ230名の募集（道路部門、港湾・漁港部門の計）とします。
2. 「多目的ホール」は会場収容人数200名のところ68名の募集（港湾・漁港部門）とします。
3. 大型バスは乗車定員45名／台のところ20名／台×6台とし、120名の募集（現場研修）とします。

【会場での感染予防対応等】

1. 受講者の間隔を十分に確保したゆとりのある座席配置を行います。このため、募集人数が通常より少なくなりますことをご了承ください。
2. 当日の受付は、受講者の皆様と会場スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. 講習中でも換気を行う場合がありますので、ご協力をお願いします。
4. マスクの着用をお願いします。なお、会場スタッフもマスクを着用させていただきます。また、適宜、館内の消毒液や洗面所の液体石鹸等による手指消毒にもご協力ください。
5. 発熱や咳など体調不良の場合はご来場を見合わせてください。
6. 講習会場で検温を実施いたしますのでご協力をお願いします。体温が37.5度以上の場合は、受講をご遠慮いただくことをご了承ください。
7. ドアノブや使用機材等の消毒を行います。
8. 講習会終了後、14日以内に感染および感染が疑われる症状が発生した場合は、速やかに全建事務局までご連絡ください。感染者または濃厚接触者と分かった場合は、保健衛生局等への情報提供にご了承ください。保健衛生局等からの聞き取りなどへの協力および要請に対応していただきますようお願いいたします。

【現場研修（バス等）での感染予防対応等】

1. バス車内・視察現場等では、参加者の間隔を確保したゆとりのある配席等を行います。
2. バス車内・視察現場等では、参加の皆様と参加スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. バス車内は、外気換気モードによるエアコンの使用を基本とし、バス車内換気能力を参加者へご案内します。
4. バス乗降時には、消毒液を用意しますので手指の消毒のご協力をお願いします。
5. バス車内の手すりや使用機材等の消毒を行います。